

「第32回 千葉県新型コロナウイルス感染症対策本部会議」

(令和3年6月30日開催)

【知事の指示事項等】

それぞれの各部局において、感染拡大防止に向けて、ご協力していただいていることに感謝をしたいと思います。

現在、本県では7月11日までの間、新規感染者数や病床稼働率の状況などを踏まえて、まん延防止等重点措置区域を11市とした上で、当該区域において、飲食店の営業は20時までとし、一定の要件を満たした飲食店に限り、19時まで酒類を提供可能とすることなどの措置をとっているほか、県内全域において、大規模商業施設の営業時間短縮や入場整理の協力の要請を行っているところであります。

長い期間、県民及び事業者の皆様にはご協力をいただき、改めて感謝を申し上げます。

本件の感染状況でありますけれども、本日の新規感染者数については156人、直近7日間平均で約120名となっています。この1週間平均を前の週と比較をすると、1.09、9%の増加。新規感染者数は6月23日から28日まで、6日連続で100人を上回ったほか、前週比を上回る日も多い状況であります。さらに印旛地域、特に成田市の新規感染者数が増加傾向にあります。

また変異株については、本県においても感染力が強いと言われるデルタ株が確認されており、スクリーニング検査において、デルタを含むL452R変異株は、6月の初めには確認されていなかったものが、直近の速報値では1割を超え、危機感を持っております。

ワクチン接種が進んでおり、特に高齢者については、昨日時点の1回目接種終了者が約60%、2回目接種終了者が約25%となっていることから、その分病床への負担は軽減をされていると考えられますが、病床稼働率については昨日時点において28.4%と、全体としては増加傾向にあり、また、先ほど申し上げた通り、印旛地域の感染拡大に伴い、同地域の病床稼働率が急激に上昇しているほか、先日まん延防止等重点措置区域とした市原地域や、君津地域の病床稼働率が依然として高いままであるなど、予断を許さない状況であります。

こうした状況の中、前回 6 月 18 日の対策本部会議では、感染状況等を踏まえ、2 週間後を目途に、まん延防止等重点措置区域の見直しを検討することとしていたところ、本日、まん延防止等重点措置区域の見直しについて協議をいたします。

千葉市、船橋市、柏市、市長会及び町村会の皆様におかれましては、ご多忙のところご出席をいただき感謝を申し上げます。

○ まん延防止等重点措置区域の見直しについて

7 月 2 日から 7 月 11 日までの間、重点措置の対象区域については、これまでの 11 市に新たに成田市を加えることといたします。

このたび県では、これ以上の感染拡大を防ぐため、速やかに対処する必要があると考え対象区域の見直しを行いました。

引き続き、市町村の皆様とともに、感染防止対策、取り組んでいきたいと思っておりますので、また現場のご意見もお寄せをいただければと思います。

本日は、まん延防止等重点措置区域の見直しについて決定をいたしました。

各部局においては、本日決定した内容について、県民、事業者の皆様、関係団体、市町村等へ速やかにしっかりと周知を行ってください。